

前立腺がんの定位放射線治療の実際の流れ

(超寡分割照射: Ultra-Hypofractionated Radiation Therapy)

・当院では泌尿器科医師からの依頼を受けて前立腺がんの定位放射線治療を行っております。

① 放射線科医師による診察 放射線治療棟

- ・スケジュール調整
- ・治療棟CTで腸内状況確認
- ・腸内状況により下剤、消泡剤を処方

金マーカー



直径0.9×長さ3mm

4日前～ 下剤、消泡剤内服

② 1泊2日 入院

- ・看護師によるオリエンテーション
- ・治療棟CTで下剤の効果確認
- ・泌尿器科医師にて金マーカー留置
- ・栄養指導（退院後から治療終了時まで低残渣食を推奨しております）

4日前～ 下剤、消泡剤内服

③ 治療計画CT・MRI

当日朝食ぬき、治療計画CTの2時間前に排尿＋飲水

- ・放射線治療棟 治療用固定具の作成、治療計画CT撮影
適切な尿量、腸内状況にて撮影をします。残便や直腸内ガスにより前立腺や精囊の位置変化が放射線治療に大きな影響を及ぼすと判断した場合、蓄尿または排便や排ガスなどをお願いすることがあります。ご協力よろしくお願い致します。
- ・中央棟MRI 計画CT撮影後、治療計画MRI撮影へご案内します。

4日前～ 下剤、消泡剤内服

④ 放射線治療 5日間（病院休診日を除く連日）

- ・初回、最終回の日には、放射線科医師の診察があります
- ・治療の2時間前に排尿＋飲水
- ・受付、更衣
- ・看護師による問診
- ・CT、エコーで尿量、直腸の状態を確認。状況により時間を要することがあります

放射線治療

- ・治療計画CTと同じ姿勢で行います
- ・治療中は動かないようにして下さい（所要時間 約30分）
- ・治療中ガスの移動により治療を中断し、排ガスをして頂く事もあります

終了後、中央棟 会計

- ・次回の予約券を発行します